

子ども手当が支給されます

4月から、次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するため、これまでの「児童手当」に代わり、「子ども手当」が支給されます。

対象児童▶中学校修了までの児童

支給額▶月額1万3,000円

支給月▶6月、10月、2月

所得制限▶なし

申請▶

- ・児童手当を所得制限などで受給できなかったかたは、4月から中学2年生・3年生になるかたは申請が必要です。4月下旬に申請書を送付します
- ・中学1年生までの生徒、児童で、児童手当を受給していたかたは申請が不要です。ただし、6月に現況届の提出が必要となります(後日案内)
- ・新生児については、出生届提出時に申請してください

臨時窓口の設置

4月25日(日)～27日(火)に臨時窓口を設置します。

☎ 福祉・児童課(☎87-0777)

勝山市 政策提案募集

勝山市政に関する政策提案を募集します。いただいた提案は、今後のまちづくりのアイデアとして、第5次勝山市総合計画策定などに活用していきます。

募集期限▶5月7日(金)

募集内容▶3人以上のグループ(各種団体・サークル、友人・知人同士、職域など)で考えた市政に関する政策提案

※市内外は問いません。ただし、宗教および政治団体は除きます

応募方法▶所定の応募用紙に必要事項をご記入のうえ、未来創造課宛に持参もしくは郵送でお送りください。なお、郵送の場合は、封筒に「勝山市政策提案」と明記してください

※応募用紙は、未来創造課にあります。また、勝山市ホームページからダウンロードできます

提案内容の公開▶応募された提案は、その要旨をホームページで公開します

☎・☎ 未来創造課(☎88-1115)

現在



勝山北部中学校

勝山中部中学校

勝山南部中学校



北郷小学校

荒土小学校

鹿谷小学校



成器西小学校

野向小学校

村岡小学校

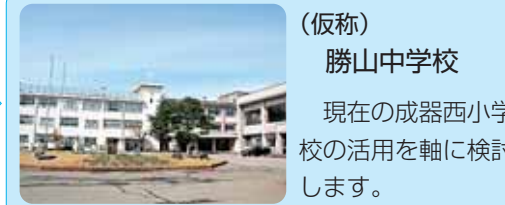


成器南小学校

三室小学校

平泉寺小学校

市の方向性(素案)



(仮称)

勝山中学校

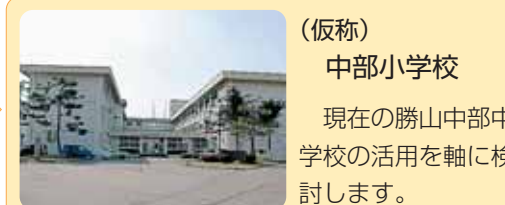
現在の成器西小学校の活用を軸に検討します。



(仮称)

北部小学校

現在の勝山北部中学校の活用を軸に検討します。



(仮称)

中部小学校

現在の勝山中部中学校の活用を軸に検討します。



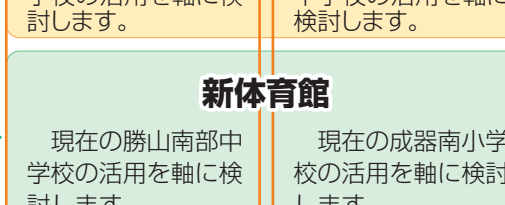
A案

(仮称)南部小学校

現在の成器南小学校の活用を軸に検討します。

B案

現在の勝山南部中学校の活用を軸に検討します。



新体育館

現在の勝山南部中学校の活用を軸に検討します。

現在の成器南小学校の活用を軸に検討します。

現在休止となっている「健康の森ゾーン」における総合運動公園整備の廃止および新たな展開に着手します。

小中学校再編にあたり 特に留意する事項

1. 再編後の小中学校児童生徒の通学手段の確保を図ります
2. 再編後の新小学校における放課後児童対策の充実を図ります
3. 再編後の遊休施設化する各地区の小中学校施設の活用を図ります

全国クラスの大会が開催できる体育館がないため、市民の新体育館建設への期待が高まっています。

長尾山総合公園第2期事業は諸般の事情から休止中。

再編にあたっての留意事項

小中学校再編後は、通学に支障をきたす児童生徒に対し、通学バスの整備をして対応を図ります。また、新小学校における放課後児童対策の充実とあわせて、各地区における児童の健全育成の充実を図ります。さらに、再編後に遊休施設化する各地区小学校の、地域における活用について検討します。

平成32年度末までに実現

この素案をもとに留意事項を整理し、「市長とんでも語ろう会」や「地区別座談会」「中学校区別の座談会」などにおいて、市民の皆様と議論を重ねていきます。そして、平成22年度中に策定する「第5次勝山市総合計画」に位置づけ、その計画期間である平成32年度末までの実現を目指します。

勝山市の重要政策課題

小中学校の再編 新体育館の建設 長尾山総合公園第2期事業

未来に向かって望ましい教育環境の整備、市民のスポーツ振興と選手の育成強化、総合公園整備に対する新しい視点での提案、これらを一体的にとらえ、いずれも同時期に整備の方針を定めていきます。

未来の子どもたちのために

今、市内の小中学校では、少子化による児童生徒数の減少によって複式学級が増え、また、希望する部活動が自分の中学校にないため、学区を越えた入学を希望する例があります。市内の公立中学校の生徒数は、平成21年の730人が平成27年には601人へ、同じく公立小学校の児童数は、1270人が1103人へ減少する見込みです。

将来にわたって子どもたちが人間教育、勉強、部活動などに充実した学校生活を送るためには、小中学校の再編は必ず着手しなければならぬ重要な施策です。

市では、これまでに市長とんでも語ろう会やその他の座談会などで、市民のみならず話し合いを重ねてきました。

小中学校の再編

その中で多く寄せられた「市としての方向性を示すべきだ」との要請にお答えするため、小中学校の再編、新体育館の建設、長尾山総合公園の新たな展開とを一体的にとらえて、未来を見据えた勝山市としての素案を提示します。

中学校再編については、北部、中部、南部の3中学校を1つの中学校に再編します。再編後の中学校の位置は、かつての勝山中学校の跡地である、現在の成器西小学校の活用を軸に検討していきます。

次に、小学校再編については、9校ある公立小学校を、現在の中学校区に合わせて3つの小学校に再編します。北部エリアは、北郷、荒土、鹿谷の3小学校を再編して、(仮称)北部小学校を置き、再編後の学校の位置

新体育館の建設

A案は、現在の成器南小学校を、(仮称)南部小学校とし、現在の勝山南部中学校に新体育館の建設を検討するものです。

B案は、A案とは逆に、現在の勝山南部中学校を(仮称)南部小学校とし、現在の成器南小学校に新体育館の建設を検討するものです。

いずれにしても、平成30年開催の国民体育大会に向けて、既存の体育館の利用活用とともに、全国クラスの大会開催が可能な新体育館を建設します。

長尾山総合公園第2期事業

最後に、長尾山総合公園第2期事業の見直しは、地元地権者のご理解をいただき、現在休止となっている「健康の森ゾーン」における総合運動公園整備を廃止し、新たな展開に着手します。

は、現在の勝山北部中学校の活用を軸に検討していきます。

中部エリアは、成器西、野向、村岡の3小学校を再編して、(仮称)中部小学校を置き、再編後の学校の位置は、現在の勝山中部中学校の活用を軸に検討していきます。

南部エリアは、成器南、三室、平泉寺の3小学校を再編し、(仮称)南部小学校を置き、再編後の学校の位置は、新体育館の建設予定地と併せて検討するものとし、現段階ではA案、B案の2案を検討しています。